

あろま

2012.4.24.

学校体育研究同志会東京支部 西多摩ブロック

素敵な出会いでスタート!

満開の桜に迎えられた新学期、子どもたちとの新しい出会いが、新たな気持ちを生みスタートできたことと思います。

そんなスタートしたばかりの21日(土)、屋城小学校で4月例会が行われました。初めての方も含めて(学生さんも)12名の参加がありました。持ち上がりあり、クラス替えあり、中には異動や退職で新たな職場での一歩があった方もいて、話題も大きく膨らみました。

早速、近況報告から始まりました。持ち上がりでは、子どもたちの様子も大体わかっているだけに、今年はこの目標でいこう!とこの一年を楽しそうに語ってくれましたが、新しい学年や異動先での出会いがあった方は、これまた、ちょっと不安も...というところ。でも、課題があるといわれていた子が、近づいてくれ、もうその子の心を掴み始めたような感じも...。凄いですね、流石です。何か不都合があると、つついお小言が先行してしまいます。でも、子どもにとっては、「なぜ、注意されたのか?」と、自分の行為と先生の注意が繋がらないと、怒られた!(自分が拒否された)といういやな気持ちばかりが残ってしまいます。すると、関係がすぐに硬直状態に陥ってしまいます。やっぱり、どんな子も褒めて欲しいし、認めて欲しいのですね。信頼をつくるチャンス・タイミング、この辺りは教師としての心の余裕か、はたまた、個性か、センスかな~なんて話も。初めての出会いが、教師にとっても、子供にとっても、何か新しいことの発見と同時に、自分自身が変わられる大切なきっかけにもなるチャンスでもありそうです。

さて、保護者との関係も話題に挙がりました。子どもたちの一番の応援団は、何といても保護者。保護者の心をどうつかめるか、担任にとっては大きな課題です。担任の願いを保護者と共有できることはこれから始まる学級経営に大きな力になるはずですから。これから、子供たちを通して、ゆっくりと伝え、つながっていくことが大事だと思います。急がず、じっくり、その都度丁寧に対応ですね。口で言うのは簡単、実行が難しい!でも、子ども・親・教師の人間関係をうまくつくる特效薬なんて、ありませんものね。今後も続けて話題にしていきたいです。

もう一つ、集団行動と学習集団は違う...という話が出ました。子どもたちの生活行動のけじめ=しつけ?命令ゲームのように、笛の合図でさっと動ける...確かにきびきびして見ている感じがいいのかもしれませんが、学習の規律と個々の子どもの躰はどう育つのでしょうか。授業の中で、私たちは子どものどこをどのように育てようとしているのか!「育てる」の中身についても、考えていきたいですね。

例会の始まりはいつも近況報告から。深い話が飛び出て、これだけで勉強になりそうです。

次回がまた楽しみです。1ヶ月後の子どもと先生はいかに！近況報告もよろしく！

ポケシュートの授業案づくり！

春の学習会で課題になっていた低学年の初めてのボール運動との出会い「ポケシュートゲーム」。実践研究で深めてきたことを土台に、低学年での学習指導計画づくりが話し合われました。これは中学年のハンドボールにつなげたいという計画です。ですから、ハンドの学習内容とどうつながるかの検討があります。ボール操作技術の獲得から、ゲームづくり、そして、何といても「空間の使い分け」を学習の柱です。低学年の子どもたちにどこまで可能なのか、その指導の流れはどうか、学習内容と指導の流れを明らかにして示していくことが課題です。そこで1年生12時間、2年生12時間という時間設定で、指導計画をつくることにしました。

ボールを持ったらゴールをねらえ！

自分よりゴールに対して優位にいる人に
ボールを出せ！

1年 12時間 2年 12時間

1h かべ当て

2h チーム作り

3h 試しのゲーム（ルール作り）

ゲーム課題・みんながシュートできる

* 子供が見つけて、教師が拾う

4h 練習 ゲーム（確かめる）

5h パス・シュート

5h 人形を使って、動きを確認・練習

6h

7h

8h

9h

10h

11h まとめ 大会

12h まとめ

* 4月メモから

ただ、同志会では、低学年と言えば、円（360°シュート）ゴールの的当てゲームが実践されてきただけに、まず、ポケとの違いはどこか！を洗い出しました。一番はゴールの形の違いが挙げられました。シーツを大きく広げて、キャラマークを左右に2つ、ボールが当たるとボールをくるむようにシーツのゴールが揺れる。子ども達にとっては、とても分かりやすいゴールのアクションが面白い。しかも、シーツに描かれた2つのキャラがあることで、只の平面から平面のゴールエリアを右左上下に分け子どもたちの目が意識しやすくなります。子ども達にとって、よりシュート意識や意欲が高まるというものです。ゴールの形態の違いが、まず大きく違います。

もう一つは、パスの必要性の学びです。円ゴールでの「こぼれ球シュート」による偶然的なパスの有効性ではなく、もっと意図的に味方とのつながりの中で空間を意識をさせながら、ゴールに向かってパスをつなげることを学習課題に挙げた点です。そこから、シュートポジションはどこか、

シュートポジションの確保はどうすれば良いのか。さらに、仲間でシュートポジションをどうつくればよいのか。ここはまさに学習の課題と場づくりです。この学習内容は、2：0（動きとパス・作戦）を丁寧に中身を順序立て子どもの目線で積み上げていく学習過程が展開されていくところです。

4月例会では、この辺りまでが話し合われました。5月例会の課題は、ポケシュートの学習内容の解明（2：0）と指導過程の具体的な展開を、実技を通しながらさらに深めていくことになりました。

参加者の声から...

12人の参加でスタート
「ポケシュー」で教える中身は何か
が、整理されつつある。
ゴールが持つ性質がゴール型の球技
の空間の使い方(戦術)が2つのゴール
(シュート)空間の使い分けという
意味まで、2:0の基本(低学年の認
識)に迫りたいと考える。 Aさん

今日はもう一度2年生のポケシュー
ートを振り返りながら、学習内容
を考えることができた。短い時間
で実践してきたことを、12時間
でやれたらすごく力がつくだろう
なあと思いました。しっかり作れ
たらいいです。そして、実践した
いな~、無理だけど...

Bさん

参加させていただきありがとうございました。空間や技術レベルを考え、つくる授業は、とても深いものがありました。1つの単元に、ここまで深く研究していてとても勉強になりました。また、現場での悩みや問題などが聞けてとても勉強になりました。 Cさん

ゲームの中でつくる子どもたちの
「困った」「どうしたらいいの」を
一つ一つ解決していくことが大切
だと思います。特に、攻防入り乱
れてのゲームの中で、どのように
2:0を生かしていくかを考えて
いきたいです。 Dさん

ただ楽しいだけでなく、ゲームの中で子どもたちが、空間を考えてパスシュートするというのが分かりました。クラスみんなでゲームの中から、課題を考えて、練習をする!私も明日から、そういう授業をしたくなりました。

話していることと、自分の頭の中で理解し、イメージしていることと違うかもしれないけれど、子どもたちが生き生きしている姿が思い浮かんで、とても勉強になりました。有難うございました。 Eさん

ポケモンをゲットするという児童に馴染みのあることをゲームに取り入れており、とても面白いと思いました。

「ボールをもらったら、ゴールをねえ!」「空いている空間を探す」ということをどう教えていくか考えさせられました。また、よろしく願いいたします。

Fさん

今年は2年生を持っているので、私もポケシューゲームに取り組もうと思います。子どもたちに、どのように指示を出したら良いのかがよくわかりました。今、担任をしているクラスの課題について、沢山のアドバイスを頂き有難かったです。 Gさん

低学年で、2:0の動きをどこまで分からせられるのか、どこまで技能の練習をしないといけないのか、低学年を経験していない私には、分からないところだらけでした。また、次回を楽しみにしています。今日は、ありがとうございました。 Hさん

新しいクラスも始まったが、学習集団をつくっていくことが大切だと改めて感じた。また、なるべく早い段階で、教師として褒めること、怒ることの基準を明確に示していきたい。

ボールのもらい方の動きを身につけるのは、自分も教えてみて、すごく難しかったので、次回きちんと整理してみたい。 Iさん

シュートボールの限界は感じていたので、ポケシュートには、期待を持っています。こぼれ球に期待をしているのでは、成長はないし、教科内容を常に考えることは、分かっていることではあるけれど、やっぱり、どこかで忘れてしまうと思い反省しました。でも、いつも新しい発見があるのが、やっぱりサークルっていいなあと思います。それに、休んだらダメですね。理由はあるんですけど・・・ Jさん

忙しいと言いながらも、サークルに足を運ぶ！すごいことですね。子どもたちに力をつけたい。そのためには、何をどんなふうに学べば良いのか！ポケシュートは、低学年にとって最初のボールゲームとの出会い。ボール操作技術から、ゲームづくり、そして、仲間づくり。「空間の使い分け」低学年には、どうなのか？不安を感じつつも、できるのかも……。次回が楽しみです。 Kです。

西多摩ブロック5月例会のご案内!

「ポケシュート・学習内容の検討」

日時 5月20日(日) pm1:00~

会場 あきる野市屋城小 042-558-1129



昨年度から実践を重ねてきた低学年の球技教材「ポケシュートボール」その学習内容は何か。

4月例会では低学年で学ぶ「2:0」学習が挙げられました。5月例会では、実技を通して、その中身について検討します。中学年のハンドボールにどうつながるのか！さらに実践研究で確かめながら。

*実技の用意をお願いします。お待ちしております。